

大阪市イノベーション促進評議会 令和2年度第2回 会議要旨

1 日時

令和3年3月24日（水曜日）16時15分～17時56分

2 場所

大阪イノベーションハブ（OIH）、及びWeb

3 出席者

正城委員長、東委員、竹村委員、田中委員

事務局（馬越部長、松本課長、田原課長代理、井上課長代理、瀨上課長代理ほか）

4 議題

<協議事項>

- (1) 令和2年度の主な取組みについて
- (2) 令和2年度の事業評価について（中間報告）

<報告事項>

- (3) 令和3年度取組方針について
- (4) 「大阪の再生・成長に向けた新戦略」（2021～2025）について

5 会議要旨

議題（1）（2）に関する事務局の説明に対し、各委員より以下のとおり意見具申。

[主な発言内容]

- ・コロナ禍でオンラインでのイベント実施のスキームを組み上げてきて、海外との交流も進んだということは非常に素晴らしい。コロナ禍の非常事態ではなくて、オンラインを標準にしてほしい。
- ・東京一極集中からの脱却など、コロナによって起こった良い変化を徹底的に大阪は突き詰めていったほうがいい。
- ・どうしてもオンラインにはならない、住むということについて、大阪に住むということを選んでる人たちの声をいかに大事にしていくかが肝になる。自分たちが住みたいと思える本

質的なまちづくりをしていけばいい。

- ・女性やお子さんがいらっしゃる方もオンラインにより社会参画がしやすくなったり、体にハンディのある方とかも、差異がかなり小さく見えたり、今までだったらオフラインでハンディと思われていたところが、オンラインの活用でニュートラルになることで、より多くの方が起業や新しいことをする勇気を持って挑戦できる土壌はできてくる、そこは活用しない手はないと思う。
- ・オンラインは単なる手段だが、技術的なことではなくて、カルチャーがフラットになっていくことが大阪という都市にもたらす起業家精神とイノベーションにつなげる効果は絶大ではないか。それにより女性起業家も出やすくなるのではないか。
- ・自治体に提言しても徒労感のあるプロジェクトもあるが、少なくともイノベーション施策に関して言うと、コロナ禍において大阪市は非常にすばらしい成果を上げた。
- ・海外事業者向けや若年層向けなどの広報ツールについて、T w i t t e r やクラブハウスなど、よりターゲットを絞った情報発信も検討してみてもどうか。
- ・大阪で唯一欠けてるのは、本当にうまくいってるのに、うまくいってることを発信する力である。

議題（３）（４）に関する事務局の説明に対し、各委員より以下のとおり意見具申。

[主な発言内容]

- ・事業交付金化については、より機動的で予算も弾力的になり、一番いいモデルである。これまでのいろいろな取組をした成果を次に生かし、ノウハウを継承して、その中でさらに継続的な取組を進めてもらったらいい。
- ・新戦略において、スタートアップとかイノベーションの分脈がハブになって、それぞれをアクセラレートするところが重要な役割になる。ますますこれからO I H含め、イノベーション戦略が大阪の都市戦略をより一歩先に進めるために重要な好エンジンになるだろう。
- ・スタートアップエコシステムのグローバル拠点都市の取り組みについて、令和3年度は、さらに加速的に、これまでの計画にとらわれず最大限成果を出していただきたい。
- ・万博について、リアルで集まることが中心で前提というよりは、もう少し多層的にオンラインとオフラインを両方活用し、スタートアップがどういう形で大きなビジョンに関われるのか、参画しながら一緒につくっていきけるような形になっていくと、万博が継続する次

の持続可能性、大きな成長の起爆剤になっていく。

- ・カーボンニュートラルやゼロエミッションも、いま世界のあらゆる国の関心事項で、多くのスタートアップがその領域に取り組んでいる。万博でその領域に対して高いゴールを掲げられることで、世界中から優秀な人材に集まってもらって、万博の企画にも入ってもらいたい。そうすることで、イノベティブな企業を増やすことや、ヘルスケアやグリーン分野で大阪が新しく、さらに力を発揮していくことにつながるんじゃないか。
- ・直接海外とつながって、東京とは違うコンテキストで新しいチャレンジ始めているから、次の万博に向けて都市とスタートアップの関係性を改めて再構築していく段階に入った。
- ・大阪が丸ごと、ある種のインキュベーター的な要素を持ちながら、国内のスタートアップがこの大阪インキュベーターの中で育って成長して、社会に価値を提供し続けるショーケースとして万博でどういうものを出せるのかといういい機会になる。
- ・関西圏は本当に魅力のある場所が多く、世界の人が集まる大チャンスが来ているし、大阪がもともと持っているカオスなエネルギーが、スタートアップには本当に向いている。
- ・高校生、大学生の人材育成プログラムの拡大や資金調達など、大阪の起業家基盤がどんどん整ってきていることは非常に心強い。本当に素晴らしいコミュニティと人材がこの場を巣立って行かれた結果だと思う。
- ・目標を立てるときに、確実に達成できるような低い目標を立てがちであるが、思い切って高い目標を立てた上に、それをさらに上回るどころまで達成できたということは、全ての関係者の成果である。
- ・次回の基本方針策定に当たっては、思い切った方針を打ち出し、一旦は万博に向けて、またそれ以降の発展に向けてぜひ進めていただければと期待する。